

ヨハネ・ノート

札幌コダーイ合唱団

第1号

2005.01.13 発行

◇ バッハ「ヨハネ受難曲」とは

「ヨハネ受難曲」と聞くと、ヨハネという人が危難にあったのかと錯覚しそうですがそうではありません。新約聖書にある4つの福音書のひとつ、「ヨハネ福音書」に記されたイエス・キ

リストの受難の物語をもとに音楽にしたものです。バッハは全部で5つの受難曲を作曲したと伝えられますが、完全な形で現存するのはこの作品と「マタイ受難曲」の2つだけです。

◇ 全曲の構成

曲は主に福音史家（＝エヴァンゲリスト。福音書の執筆者のことでこの場合はヨハネ）が朗誦する（レチタティーヴォといいます）聖書の記述《第18～19章》にしたがって進められ、その合間に宗教詩に基づいたアリア（主に独唱）やコラール（合唱による賛美歌）が挿入されて

います。

全体は大きく2部に分かれています。おおまかにいうと何曲かごとに[レチタティーヴォ、合唱][アリア][コラール]というまとまりになっており、このまとまりがくりかえされています。

◇ 合唱の役割

①聖書に登場する群衆：合唱の役割のひとつは聖書に登場する群衆を描くことです。時には怒り狂う民衆となり、また時にはイエスを落としいれようとする祭司たちになって、福音史家とともに物語をすすめていきます。

②コラール：その場面に込められている宗教的な意味合いを表現します。この作品に使われているコラールは、古来ドイツで歌い継がれてきたもので、当時の人々にはなじみの深いものばかりです。

【NBA1】(BWV1)「われらの統治者である主よ」

ダ・カーポ形式で書かれた壮大な序曲です。低音には重苦しく足を引きずるような反復音が響き（譜例1）、その上では木管楽器が2声部で絡

み合いながら（譜例2、3）、ため息をつくように奏でられます。



これらが一体となった響きは、まるで十字架への道のりを歩むイエス・キリストの痛ましい姿を描いているかのようです。音楽は緊張をはらみつつしばらくはオーケストラのみで進められます

が、やがてそれまで沈黙を保っていた合唱が、いきなり「主よ！」と3度呼びかけます。この第1曲でバッハは、キリストの受難と栄光の二理念を描いています。

【課題】 曲の構造を理解しよう。

全体はA-B-Aの構造をもつダ・カーポ形式です。以下に図式化してみましたので、< >

内に小節数を入れながらどのような構造になっているかを自分の目で確かめてみましょう。

序奏（オケ）<1～18>-A1<19～>-A2<～>-A3<～>★（終止）
B1<～>-B2<～>-B3<～>-B4<～>《Da capo》

[NBA2a] (BWV2) 福音史家

序曲が終わるとただちに福音史家が聖書の言葉（ヨハネ福音書第18節-1）を語り始めます。

バッハの時代には、音型による情景描写というのは一般的な手法でした。「ケデロンの谷を横切り、とあるオリーブ園に入って行かれました」の

ところでは Kidron の言葉が低い位置におかれ、「谷」であることを描いています。

人間相互の位置関係も同様です。尊い存在である Jesus は高い位置に、弟子たちはそれより低い位置におかれています。



Je - sus ging mit sei - nen Jün - gern ü - ber den Bach Kid - ron dawar ein Gar - ten,

圧巻は Juda の描き方です。「裏切り者」であることを、まずコンティヌオが減7の和音（邪悪な

雰囲気をもっている）で示し、旋律の動きにも緊張がみなぎっています。



Ju - das a - ber der ihn ver - riet,

「裏切り者のユダは」

これ以降は細かな説明は省略しますが、バッハのレチタティーヴォは実に表現に富んでおり、受難曲の物語性を的確に描いています。この後、イ

エスを捕らえようと迫る兵士たちに向かって、イエスは「誰を捜しているのか？」と問いかけます。これに対して兵士たちは答えます。

[NBA2b] (BWV3) 合唱「イエスを、ナザレのイエスを」



Je - sum, Je - sum, Je - sum von Na - za - reth,

ナザレとはイエスの出身地です。人を呼ぶときに地名で区別したのでしょう。ヴァイオリンとフルートの音型はイエスに迫る人々のざわめきのようです。ヘルムート・リリング（ドイツの有名なバッハ演奏家）は合唱の1拍目が休符であることを、兵士たちの戸惑いや懼れという意味に解釈しているようです。

ドイツ語の発音ではアクセントと無アクセントのコントラストを明確にすることが大切です。Je は力強く、sum は弱めに歌います。またアクセントのある拍は子音を強調（幾分長め）にすると効果的です。J は記譜の直前に先取りします。



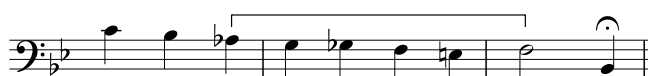
J - e - sum, J - e - sum,

[NBA3] (BWV9) コラール「あなたの意思が地上でも行われますように」

聖書の記述はその場のドラマを描きますが、コラールが語る内容は時間を越えたところに位置しています。つまり、まずはその場に居合わせる人たちの心情を、同時に現代の私たちの共感を、さらには普遍的なキリスト者の信仰告白を描いているのです。

一見単純な4声の合唱曲ですが、バッハは各所でテキストの意味を具体的に音で描いています。

（第4-6小節バス「苦難の道を歩まれる」→半音階的下降。第8-9小節アルト「楽しみと喜び」→弾む動き。第10小節バス「苦しみをお受けになる」→身をよじるような音型、など）



ge - bracht auf die - se Mar - ter - stra - ß!



Lust und Fre - den,



und du mußt lei - den.